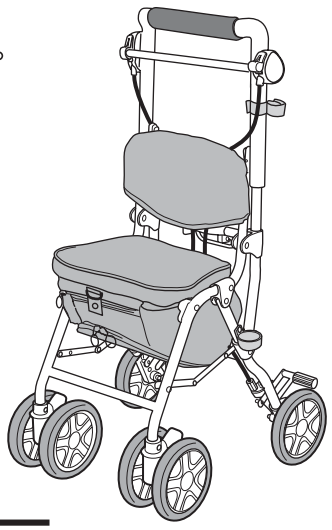
Richell

# 〈取扱説明書〉

歩行補助車
# アルキュートCP



安全基準適合品

このたびは、リッチェル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
**ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。**
**また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。**
本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため現物とは多少異なることがあります。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も併せてお渡しください。

## 目　次


●ご使用の前に …… P1
●特長 …… P1
●各部の名称…… P1
●使用上の注意 …… P2～P3
●使用方法 …… P3
1.駐車用ロックの使い方 …… P3
2.本体の開き方 …… P4
3.本体の折りたたみ方 …… P4
4.ブレーキのかけ方 …… P4
5.ブレーキおよび
駐車用ロックの調節方法…… P5
6.キャスターの使い方 …… P5
7.ハンドル高さの調節方法…… P6
8.杖や傘の固定方法 …… P6
9.座面の使い方 …… P6
●お手入れ方法 …… P7
●点検について …… P7
●保管について …… P7
●仕様 …… P8
●保証書 …… P8
●SGマークの被害者救済制度…… P8


## ご使用の前に

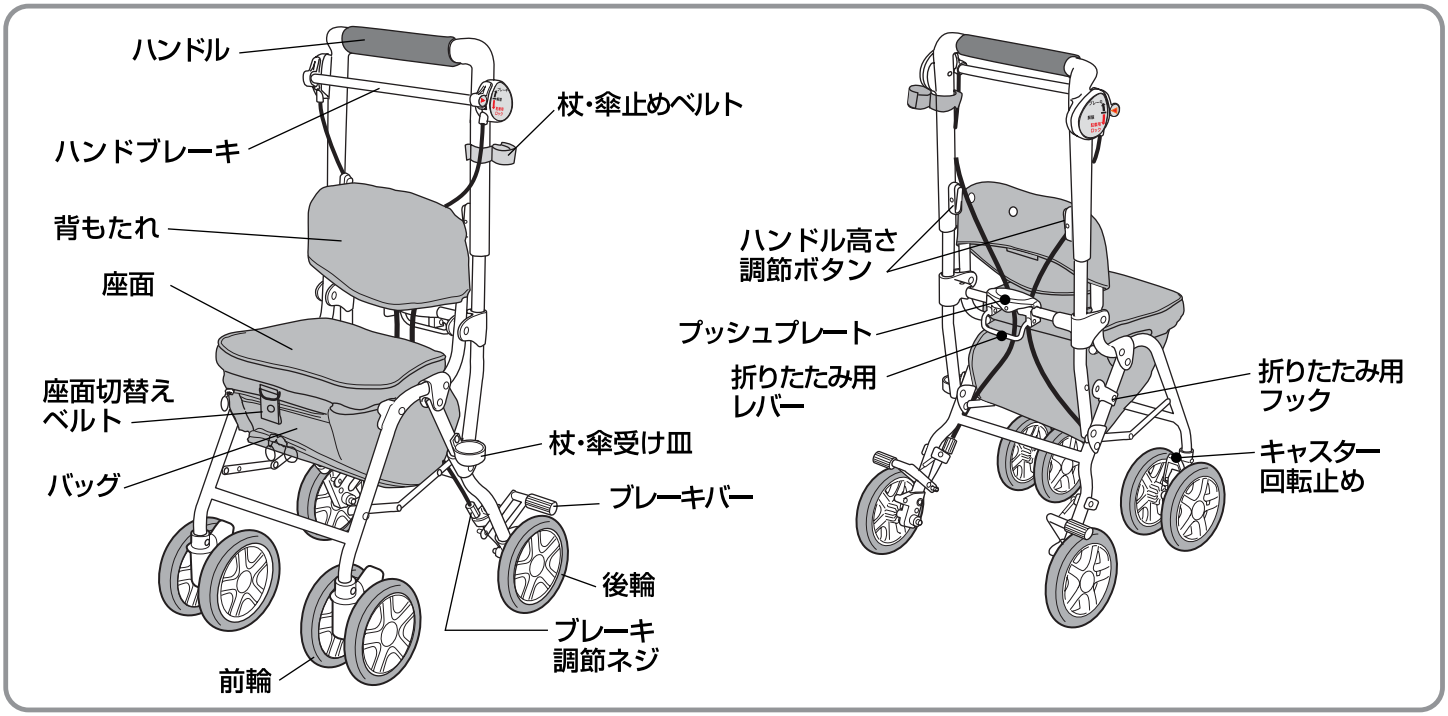
**⚠警告**

- **この製品は、主として高齢者の方が外出する際に歩行や運搬および休息に用いる製品で、自立歩行ができない方の使用には適しません。**
- 使用前に各部の破損、ゆるみ、磨耗などの異常がないか確認してください。異常を発見した場合は使用を中止し、当社お客様相談室までご連絡ください。そのまま使用しますと重大な事故につながるおそれがあります。

## 特　長

- 買い物や散歩に便利な小物収納ポケット付バッグが付いています。
- 使用される方に合わせてハンドルの高さが3段階（85～91cm）に調節できます。

## 各部の名称



## 使用上の注意

○記号の説明

この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて、次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

**⚠警告** …取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

**⚠注意** …取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

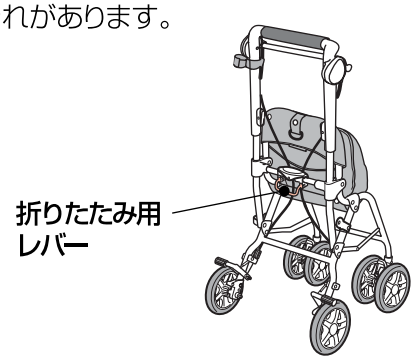
**重 要** …取扱いを誤った場合、製品の故障・損傷・早期寿命などを招くおそれのあるもの。

…してはならない禁止事項。

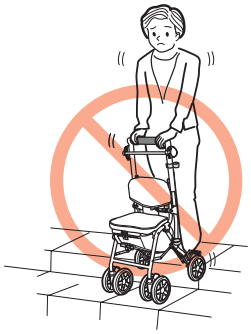
### ⚠警告　必ずお読みください。取扱いを誤ると重大な事故につながりますので必ずお守りください。

- 用途以外には使用しないでください。
- 本品の分解･改造はしないでください。

- 座面に腰かけるときには必ず駐車用ロックをかけてください。車体が動いて転倒するおそれがあります。
- 傾斜地では座面は使用しないでください。転倒するおそれがあります。

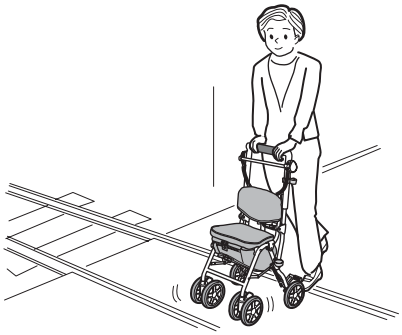



- 折りたたみ用レバーが確実にロックされていることを確認してから使用してください。ロックが不十分だと走行中に折りたたまれるおそれがあります。



- 階段、エスカレーターでは使用しないでください。また段差や溝のある場所での使用は十分注意してください。

- バッグ内に乳幼児を乗せたり、座面に人を座らせたまま押したりしないでください。
- 幼児や子供が遊ばないよう注意してください。転倒するおそれがあります。



- 踏切を渡るときは、できるだけ線路に対し直角に進んでください。斜めに渡ると車輪を取られたり、線路の溝に車輪がはさまったりするおそれがあります。
- ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけたりしないでください。
- 雨や雪の日、凍結時など滑りやすい所では使用しないでください。転倒するおそれがあります。
- 砂利道･悪路などでの使用は十分注意してください。
- 歩いて使用してください。走ると転倒や事故につながるおそれがあります。
- 使用前は各部を点検し、左右ブレーキ、および、駐車用ロックがかかることを十分確認して使用してください。
- 組立て、および、調節は確実に行ってください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、および、夜間での使用は十分注意してください。
- タイヤ･ブレーキの磨耗、および、ブレーキの作動不良がないかを定期的に点検し、必要に応じて交換してください。

**⚠注意**

- 折りたたみ開閉時には指をはさまないよう十分に注意してください。
- 座面を踏み台代わりに使用しないでください。転倒するおそれがあります。
- 座面に浅く座ったり、強くよりかかったりしないでください。転倒するおそれがあります。
- 最大使用者体重80kgをお守りください。
- 本体からはなれるときは必ず駐車用ロックをかけてください。車体が勝手に動き出すおそれがあります。
- バッグには4kg以上の荷物を入れないでください。
- 雨や風の強いときは使用しないでください。
- 傘を持ちながら走行しないでください。

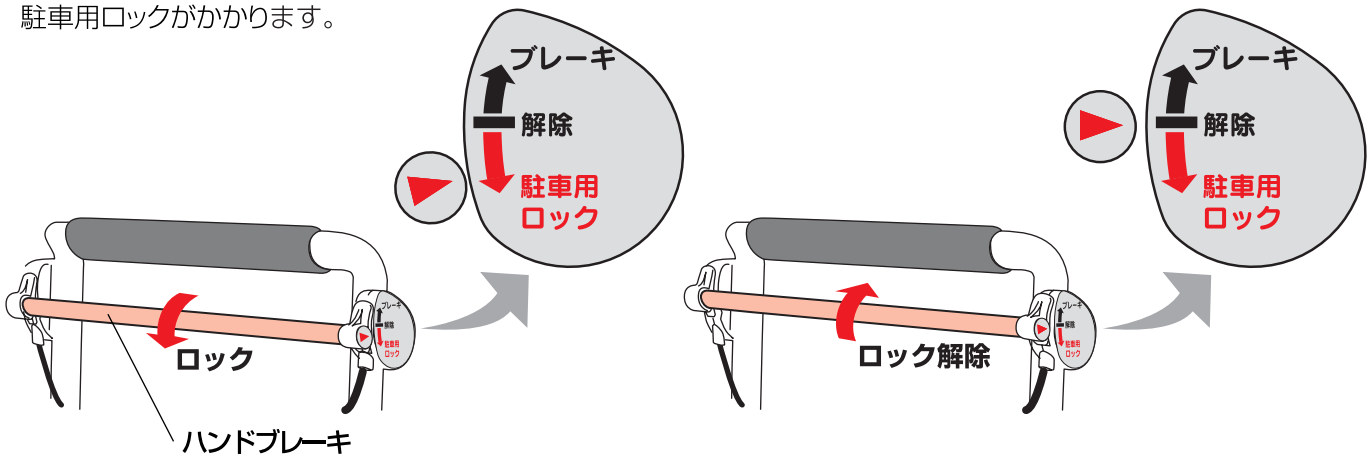
**重 要**

- 改造、また部品の代用は絶対にしないでください。故障の原因となります。
- 駐車用ロックをかけたまま押さないでください。故障の原因となります。
- タワシやみがき粉・研磨剤入りスポンジなどは使用しないでください。製品にキズがつくおそれがあります。
- 直射日光が当る場所に長時間放置しないでください。色あせの原因となります。
- 雨ざらしにしないでください。サビによる故障の原因となります。
- 火の近くや高温になる場所での放置は避けてください。変形や故障の原因となります。
- バッグを洗濯機で洗わないでください。

## 使用方法

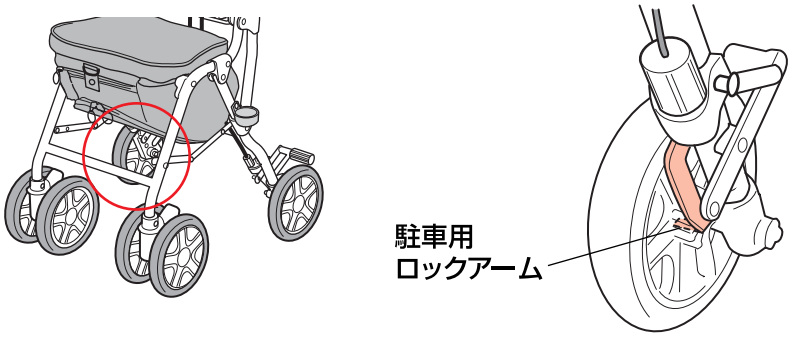
### 1. 駐車用ロックの使い方

ハンドブレーキを矢印方向に倒すと
駐車用ロックがかかります。




**⚠注意**

- 本体からはなれるときは必ず駐車用ロックをかけ、左右の両後輪が回転しないことを確認してください。
  車体が勝手に動き出すおそれがあります。



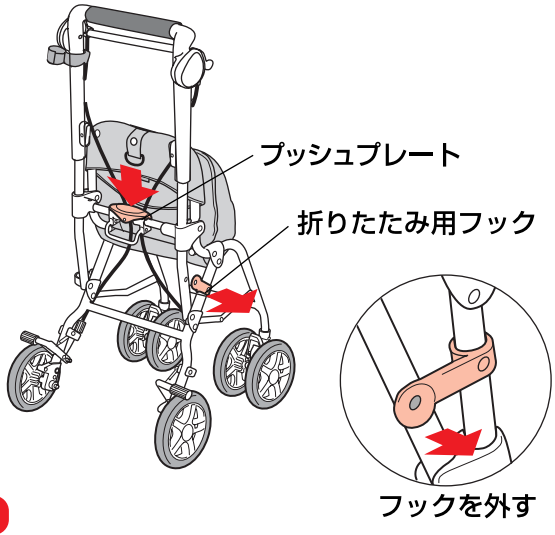

**重 要**

- 駐車用ロックをかけたまま押さないでください。故障の原因となります。

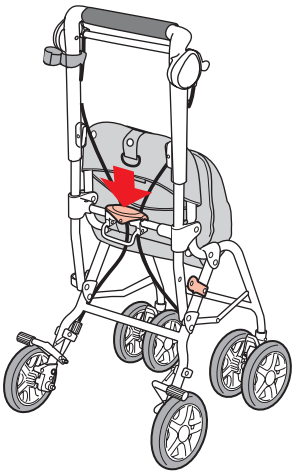
## 2. 本体の開き方　開閉は駐車用ロックをかけて行ってください。

※開梱時は折りたたみ用フックにかけてあるバンドを切断してください。

①右手で折りたたみ用フックを外しながら左手でプッシュプレートを押し下げて本体を開きます。




②カチッと音がするまで押し下げます。プッシュプレートから手をはなして、折りたたみ用レバーがロックされていることを確認してください。



**⚠警告**

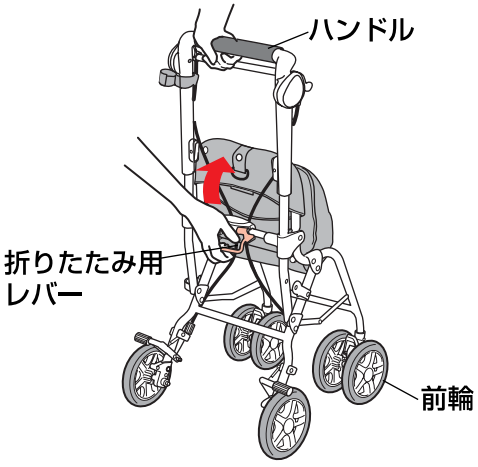
- ●開閉は駐車用ロックをかけて行ってください。
- ●折りたたみ用レバーが確実にロックされていることを確認してから使用してください。ロックが不十分だと走行中に折りたたまれるおそれがあります。

**⚠注意**

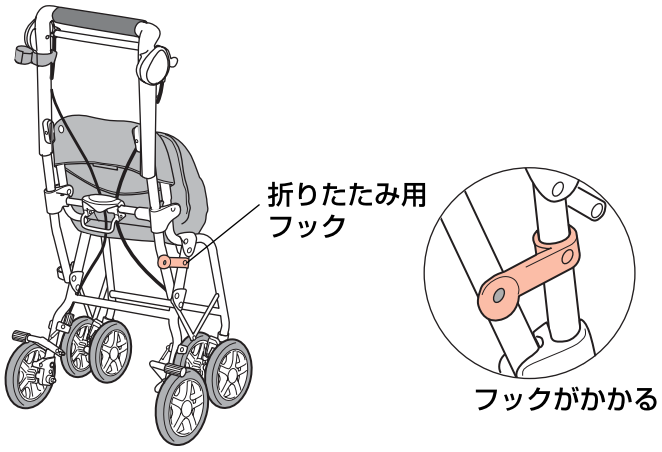
- ●折りたたみ開閉時には指をはさまないよう十分に注意してください。

## 3. 本体の折りたたみ方

①片手でハンドルを持ち、もう片方の手で折りたたみ用レバーを上方に引き上げます。

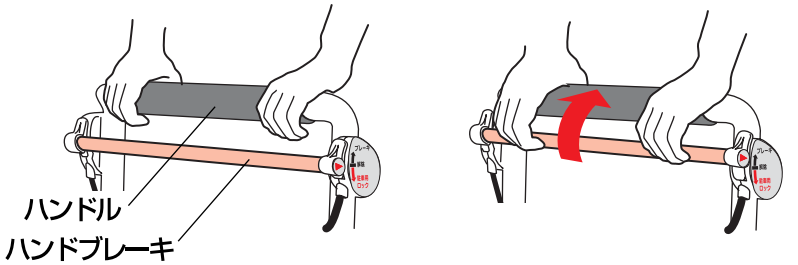



②折りたたみ用フックがかかれば完了です。



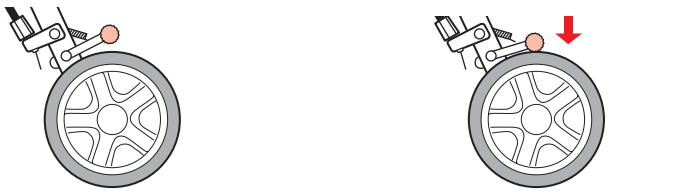

## 4. ブレーキのかけ方

ハンドルを持ちながらハンドブレーキを強く握るとブレーキがかかります。



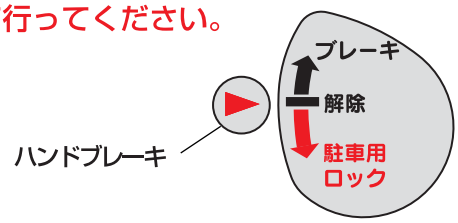

**⚠注意**

- ●使用前にはブレーキが確実にかかることを、十分に確認してください。使用中にブレーキがかからないと転倒するおそれがあります。

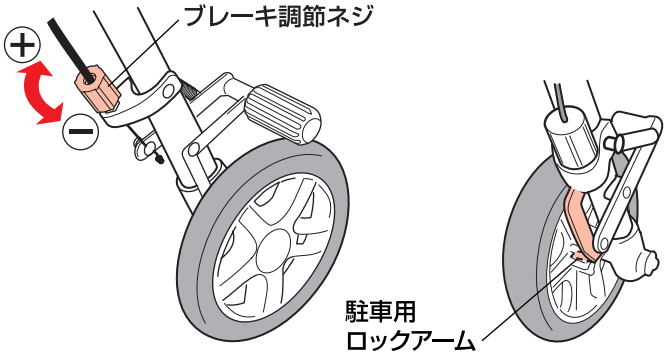


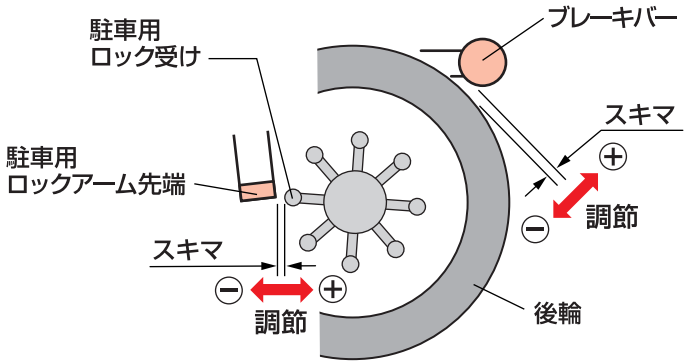
## 5. ブレーキおよび駐車用ロックの調節方法

**調節はハンドブレーキを「解除」の位置にして行ってください。**




「ブレーキ調節ネジ」を回すと「ブレーキバー」および
「駐車用ロックアーム先端」の位置を調節できます。




**使用前やハンドル高さ調節時には必ず後輪を回し、「駐車用ロックアーム先端」が「駐車用ロック受け」に接触しないこと、および、「ブレーキバー」が「後輪」に接触しないことを確認してください。また、ブレーキの効き具合も確認してください。**

**⚠注意**

- ●両側のブレーキが均等にかかるように調節してください。
  片効きの場合、不安定になり転倒するおそれがあります。
- ●ブレーキ調節後、駐車用ロックが正常にかかることを
  確認の上、使用してください。

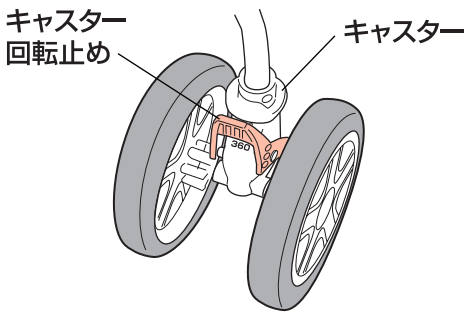
## 6. キャスターの使い方

**路面状況に合わせて、キャスター回転止めによりキャスターの回転角度が切替えできます。**

①傾斜や凹凸のついた路面を走行するときは、前輪左右のキャスター回転止めをロックしてください。直進安定性がよくなります。

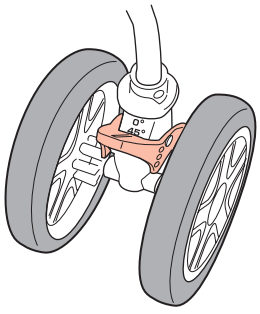
②平坦な路面を走行するときは、前輪左右のキャスター回転止めを使用状況により45°、360°の位置にしてください。車輪の方向転換がしやすくなります。

**上段「0°」**



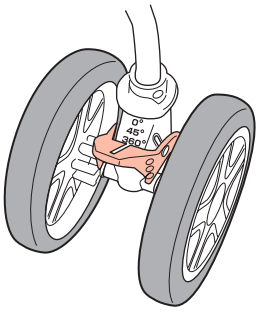

回転止めを 上段「0°」の位置に上げるとキャスター回転がロックの状態

**中段「45°」**



回転止めを 中段「45°」の位置にするとキャスター45°の回転

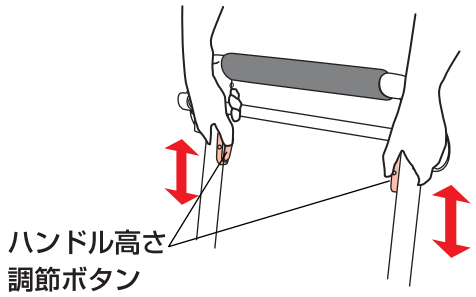
**下段「360°」**



回転止めを 下段「360°」の位置に下げるとキャスター360°の回転

## 7. ハンドル高さの調節方法

左右のハンドル高さ調節ボタンを押しながらハンドルを上下に動かし、カチッと音がしてロックされる位置で使用してください。ハンドルの高さは3段階の中から選べます。




**⚠注意**

- ハンドル高さ調節ボタンがしっかりロックされていることを確認の上、使用してください。
- ハンドル高さの調節時には必ずブレーキおよび駐車用ロックの調節を行ってください。

## 8. 杖・傘の固定方法

杖や傘を本体に固定するときは、杖や傘の先端を杖・傘受け皿に入れて杖・傘止めベルトで固定してください。

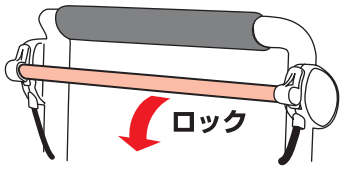
**⚠注意**

- 傘を持ちながら走行しないでください。

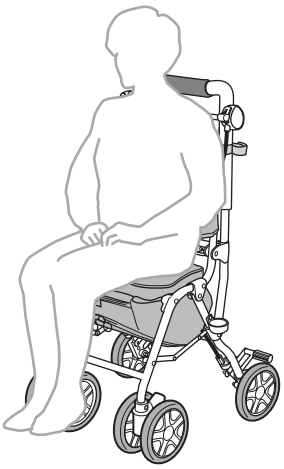
## 9. 座面の使い方

**座面開閉時には手や指をはさまないよう十分に注意してください。**

①座面に腰かけるときは、まず駐車用ロックをかけて、車体を動かないようにします。



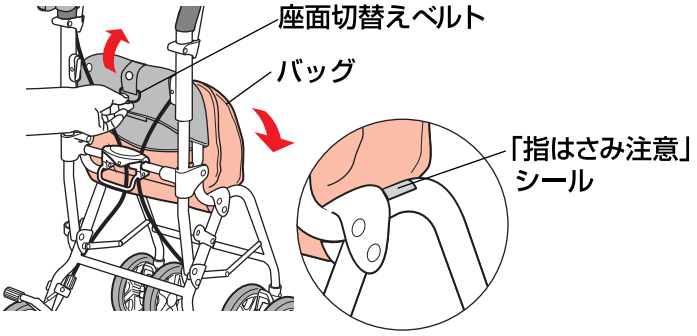

③座面の中央にゆっくりと座ってください。



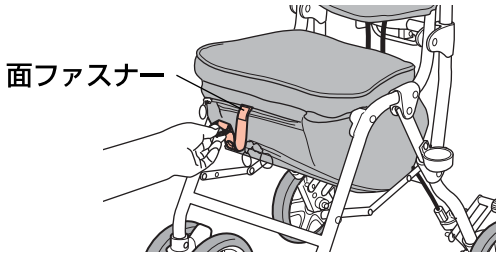
※座面を収納する場合は、逆の手順で行ってください。

②座面切替えベルトを外しながら、バッグを図のように下方へ回転させます。

**（この時、手や指をはさまないよう注意してください。）**




※バッグを回転させた後、座面切替えベルトを面ファスナーで止めることができます。




**⚠警告**

- 座面に腰かけるときには必ず駐車用ロックをかけてください。車体が動いて転倒するおそれがあります。
- 最大使用者体重80kgをお守りください。
- バッグ内に乳幼児を乗せたり、座面に人を座らせたまま押したりしないでください。
- 傾斜地では座面は使用しないでください。転倒するおそれがあります。

**⚠注意**

- 座面を踏み台代わりに使用しないでください。転倒するおそれがあります。
- 座面に浅く座ったり、強くよりかかったりしないでください。転倒するおそれがあります。

## お手入れ方法

**汚れや水気は、スポンジまたは柔らかい布に中性洗剤を含ませてすみやかに拭き取ってください。**
**きしみ音の発生や作動が鈍い時は、その箇所に少量のシリコン系潤滑油を注油してください。**

**重 要**

- タワシやみがき粉･研磨剤入りスポンジなどは使用しないでください。製品にキズがつくおそれがあります。
- バッグを洗濯機で洗わないでください。

## 点検について

**ネジ･ジョイント類のゆるみや部品の破損、タイヤ・ブレーキの磨耗、および、ブレーキの作動不良がないかを定期的に点検してください。**

**⚠警告**

- 使用前に各部の破損、ゆるみ、磨耗などの異常がないか確認してください。異常を発見した場合は使用を中止し、当社お客様相談室までご連絡ください。そのまま使用すると重大な事故につながるおそれがあります。

**重 要**

- 改造、また部品の代用は絶対にしないでください。故障の原因となります。

## 保管について

**直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に保管してください。**

**重 要**

- 直射日光が当る場所に長時間放置しないでください。色あせの原因となります。
- 雨ざらしにしないでください。サビによる故障の原因となります。
- 火の近くや高温になる場所での放置は避けてください。変形や故障の原因となります。

## 仕　様

| 品　　名 | アルキュート　CP | | | |
|---|---|---|---|---|
| サ イ ズ | 幅44×奥行51×高さ85～91[3段階]（cm） | 材質 | フレームパイプ | アルミ |
| 折りたたみ時サイズ | 幅44×奥行33×高さ87～93[3段階]（cm） | | 車　輪 | ポリプロピレン･EVA樹脂 |
| 座面の高さ | 44 cm | | ハンドル | ポリウレタン |
| 重　　量 | 4.1 kg | | バッグ・座面表生地 | ナイロン |
| 積載重量 | バッグ　：4 kg | | | |
| 容　　量 | バッグ　：約 5 ℓ | | | |
| 最大使用者体重 | 80 kg | | | |

## SGマークの被害者救済制度

### SGマークの被害者救済制度

SGマークが表示された歩行補助車を、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、人身の損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償します。

**ただしお買上げ日より3年以内です。**

### 賠償についてのご注意

- 認定した歩行補助車そのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも障害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

### 賠償金の請求について

損害を被った消費者が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する所に届けてください。

製品安全協会　東京都中央区日本橋本町1-5-9　共同ビル7F
TEL (03)5255-3631

**事故賠償に必要な項目**

① 事故の原因となった歩行補助車の現品
　イ）製品の名称、SGマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月日
② 事故発生の状況
　イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③ 被害の状況
　イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所
　ロ）被害の状況と程度（医師の証明書）

株式会社 リッチェル
富山市水橋桜木136 〒939-0592　お客様相談室/TEL(076)478-2957
（受付時間：土日、祝祭日を除く平日 9:00～17:00）
http://www.richell.co.jp/
MADE IN CHINA
袋：PE
L 0703